

## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年 2月15日

上場会社名 株式会社浅沼組 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 1852 URL <http://www.asanuma.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅沼 健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 本社経理部長 (氏名) 赤松 治 TEL (06)6768 - 5222

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	115,575	—	△ 1,525	—	△ 1,758	—	△ 3,080	—
19年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年3月期	230,878		690		367		△ 5,264	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	△ 40 44	—
19年3月期第3四半期	—	—
19年3月期	△ 69 11	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	179,286	23,516	13.1	308 79
19年3月期第3四半期	—	—	—	—
19年3月期	195,836	29,991	15.3	393 73

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	199,450	△ 13.6	520	△ 24.7	20	△ 94.6	130	—	1 71

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。〕

(参考)個別業績の概要

1. 平成20年3月期第3四半期の個別業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	114,860	—	△ 1,519	—	△ 1,747	—	△ 3,062	—
19年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年3月期	229,859		653		325		△ 5,507	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	△ 40 21	—
19年3月期第3四半期	—	—
19年3月期	△ 72 30	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	178,676	24,349	13.6	319 74
19年3月期第3四半期	—	—	—	—
19年3月期	195,185	30,798	15.8	404 32

2. 平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	198,000	△ 13.9	500	△ 23.4	0	—	120	—	1	58

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国の経済は、設備投資が引き続き増加基調にあるなど景気は緩やかに拡大を続けているものの、企業収益や雇用情勢の改善には足踏みが見られるなど、先行きの業況には不安感が広がるようになりました。

当社グループの主たる事業である建設業界におきましては、減少が続く政府建設投資の影響に加え、建築基準法改正による民間建築投資の大幅な落ち込みもあり、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しました。

以上の結果、当第3四半期の業績は、受注高1,235億1千1百万円、売上高1,155億7千5百万円、営業損失15億2千5百万円、経常損失17億5千8百万円、四半期純損失30億8千万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産が165億5千万円減少し、1,792億8千6百万円となりました。これは、仕入債務の支払や有利子負債の圧縮等に伴い現金預金が64億1千5百万円減少したことや、株式時価の下落等により投資有価証券が53億3千1百万円減少したことが主因であります。

### 3. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法を採用しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更により損益に与える影響は軽微であります。

4. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (平成19年3月31日)		当第3四半期末 (平成19年12月31日)		比較増減 金額
	金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)		%		%	
I 流動資産					
1 現金預金	34,878		28,463		△ 6,415
2 受取手形・完成工事 未収入金等	78,722		52,106		△ 26,616
3 未成工事支出金	34,219		57,821		23,601
4 その他	8,348		6,870		△ 1,477
流動資産合計	156,169	79.7	145,261	81.0	△ 10,907
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 土地	6,761		6,598		△ 163
(2) その他	6,423		6,098		△ 325
有形固定資産合計	13,185		12,697		△ 488
2 無形固定資産	640		512		△ 128
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	23,047		17,716		△ 5,331
(2) その他	2,792		3,098		305
投資その他の資産合計	25,840		20,814		△ 5,026
固定資産合計	39,667	20.3	34,024	19.0	△ 5,642
資産合計	195,836	100	179,286	100	△ 16,550
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形・工事未払金等	51,014		40,222		△ 10,791
2 短期借入金	34,930		39,280		4,350
3 一年以内償還社債	5,000		—		△ 5,000
4 未成工事受入金	25,822		34,545		8,722
5 その他	26,336		22,799		△ 3,536
流動負債合計	143,103	73.1	136,847	76.3	△ 6,256
II 固定負債					
1 長期借入金	6,685		5,460		△ 1,225
2 退職給付引当金	7,882		7,329		△ 552
3 その他	8,174		6,133		△ 2,041
固定負債合計	22,741	11.6	18,922	10.6	△ 3,818
負債合計	165,845	84.7	155,770	86.9	△ 10,074
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	8,419	4.3	8,419	4.7	—
2 資本剰余金	4,641	2.4	4,641	2.6	0
3 利益剰余金	7,914	4.0	4,643	2.6	△ 3,270
4 自己株式	△ 128	△ 0.1	△ 132	△ 0.1	△ 3
株主資本合計	20,846	10.6	17,571	9.8	△ 3,274
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	9,145	4.7	5,944	3.3	△ 3,200
評価・換算差額等合計	9,145	4.7	5,944	3.3	△ 3,200
純資産合計	29,991	15.3	23,516	13.1	△ 6,475
負債、純資産合計	195,836	100	179,286	100	△ 16,550

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比		
I 売上高	—	—	115,575	100	230,878	100		
完成工事高	—	—	114,055		229,688			
その他事業売上高	—	—	1,519		1,189			
II 売上原価	—	—	110,249	95.4	220,224	95.4		
完成工事原価	—	—	109,411		219,485			
その他事業売上原価	—	—	838		738			
売上総利益	—	—	5,325	4.6	10,654	4.6		
完成工事総利益	—	—	4,644		10,203			
その他事業総利益	—	—	681		451			
III 販売費及び一般管理費	—	—	6,850	5.9	9,964	4.3		
営業利益又は営業損失(△)	—	—	△ 1,525	△ 1.3	690	0.3		
IV 営業外収益	—	—	308	0.3	289	0.1		
V 営業外費用	—	—	541	0.5	612	0.2		
経常利益又は経常損失(△)	—	—	△ 1,758	△ 1.5	367	0.2		
VI 特別利益	—	—	438	0.4	128	0.0		
VII 特別損失	—	—	1,610	1.4	560	0.2		
税金等調整前四半期(当期) 純損失(△)	—	—	△ 2,930	△ 2.5	△ 64	△ 0.0		
税金費用	—	—	149	0.2	5,199	2.3		
四半期(当期)純損失(△)	—	—	△ 3,080	△ 2.7	△ 5,264	△ 2.3		

5. 四半期個別受注の概況

(1) 個別受注実績

	受注高
20年3月期第3四半期	123,366 百万円 △ 14.7 %
19年3月期第3四半期	144,578 △ 3.0

(注)%表示は、前年同四半期比増減率を示す。

(参考)受注実績内訳

区分			前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		比較増減	
			金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
建 設	建 築	官 庁	17,923	12.4	6,706	5.5	△ 11,216	△ 62.6
		民 間	107,898	74.6	101,315	82.1	△ 6,583	△ 6.1
		計	125,821	87.0	108,021	87.6	△ 17,799	△ 14.1
事	土 木	官 庁	10,527	7.3	6,486	5.2	△ 4,040	△ 38.4
		民 間	8,229	5.7	8,857	7.2	627	7.6
		計	18,756	13.0	15,344	12.4	△ 3,412	△ 18.2
業	合 計	官 庁	28,450	19.7	13,193	10.7	△ 15,256	△ 53.6
		民 間	116,127	80.3	110,172	89.3	△ 5,955	△ 5.1
		計	144,578	100	123,366	100	△ 21,212	△ 14.7

(2) 個別受注予想

	通期
20年3月期予想	200,000 百万円 △ 2.8 %
19年3月期実績	205,834 5.0

(注)%表示は、前年同期比増減率を示す。

[個別受注実績に関する定性的情報等]

当四半期の個別受注実績は、前年同期比14.7%減の1,233億6千6百万円となりました。部門別では、特に建築・土木共に官庁工事の落ち込みが大きく、土木の民間工事が増加した以外はすべて減少となりました。